

宗教

科目番号	2C-1	科目名	キリスト教音楽概論
大学名	活水女子大学	担当教員	椎名 雄一郎(音楽学部 音楽学科 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	月曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	2単位	開講期間	令和2年4月8日(水)～令和2年7月30日(木)
授業定員	50人	開講時間	8時50分～10時20分(90分)「毎週 月曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	ミニレポート 30% 期末試験 70%
開講場所	活水女子大学 東山手キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

科目内容

<p>(1) 西洋音楽の基礎となるキリスト教音楽の歴史を説明できる。</p> <p>(2) キリスト教音楽と、普段私たちが聴いている音楽を関連付けることができる。</p> <p>(3) チャペルアワーで接する音楽の神学的意味を説明できる。</p> <p>カトリック教会のミサ、プロテスタント教会の礼拝とそこで歌われる聖歌、賛美歌を音楽的な観点から理解する。実際にキリスト教音楽を聴き、グレゴリオ聖歌、ミサ曲、レクイエム、コラール、カンタータ、受難曲、福音唱歌、オルガン作品など鑑賞しつつ授業を進める。</p> <p>キーワード:「キリスト教」「賛美歌」「教会音楽」「オルガン」「建学の精神」</p>

科目番号	2H-1	科目名	音楽療法概論
大学名	活水女子大学	担当教員	古賀 幹敏(音楽学部 音楽学科 准教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	2単位	開講期間	令和2年4月8日(水)～令和2年7月30日(木)
授業定員	50人	開講時間	8時50分～10時20分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	レポート30% 期末テスト70%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	テキスト古賀幹敏『基礎から学ぶ音楽療法』海鳥社
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

科目内容

音楽が、何故治療に用いられることが可能なのかについて理解できる。このため単なる自分自身の楽しみだけでなく、他者の心身の健康のために音楽が果たす役割を伝えられるようになる。

また、自身の理解だけでなく音楽療法について広く説明が他者に対しても行えるようプレゼンテーションの方法についても学びを深める。授業計画にそって講義形式で行なう。DVDや可能な限り実践例での音源を用いて音楽療法の実際を紹介する。

音楽療法は実践の学問であるため、内容によっては受講生の体験を講座の中で求めることもある。

科目番号	2L-1	科目名	デザイン論
大学名	活水女子大学	担当教員	浜谷 信彦(健康生活学部生活デザイン学科 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	令和2年4月8日(水)～令和2年7月30日(木)
授業定員	50人	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	レポート・課題 約70% 出席・授業取組状況 約30%
開講場所	活水女子大学 東山手町キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	テキスト「プロダクトデザインの基礎」JIDA ワークスコーポレーション
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

科目内容

私たちの生活を取巻く身近なデザインの事例を通して、人と人・人とモノ・人と社会に関係とデザイン、社会におけるデザインの活動と役割を理解する。また、モノ・情報・空間の各デザイン領域に共通する「デザイン思考」などのデザインの考え方やプロセスの基礎を理解する。モノ・情報・空間のデザイン領域を中心に、グラフィックやプロダクト、建築など、各領域のスタンダードなデザインについて事例研究を行う。「デザイン思考」等のデザインの考え方、企画やコンセプト、変遷、市場展開、ブランド展開などデザインのプロセスや背景、ユニバーサルデザイン等社会との関係についても学ぶ。デザインの魅力を探ります。(理解を深めるため小課題、ワークショップを含む。)

科目番号	2P-1	科目名	日本文学講義Ⅰ
大学名	活水女子大学	担当教員	黒木 香(国際文化学部 日本文化学科 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	火曜日
教養・専門別	専門	時限	1時限
単位数	2単位	開講期間	令和2年4月8日(水)～令和2年7月30日(木)
授業定員	50人	開講時間	8時50分～10時20分(90分)「毎週 火曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	課題30% 授業時の話し合い参加度10% 論述形式の期末試験 60%
開講場所	活水女子大学 東山手キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	『資料 日本古典文学史 古代・中世編』梶原正昭・小林保治・津本信博・中野幸一編(武蔵野書院、1987年)
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

科目内容

・作品の原文を音読できる。・作品の内容の特徴を捉え、説明することができる。・具体的な表現を指摘しながら、作品の主題について考えた内容を述べるができる。・作品成立の社会背景について説明できる。
 作品についての辞書的な内容を知るだけではなく、作者や成立時の環境について知った上で、広い視野で作品をよめるようになる。
 奈良・平安時代の作品を中心として、和歌や物語、日記文学、説話などのジャンルに属する作品を読む。原文を正確に音読し、古語の意味を知り、内容を理解するための文化的な基礎知識(建築・服飾など)も幅広く身につける。授業時に取り上げた作品について、調べた上で考察を加える課題を複数回出す。

科目番号	4P-1	科目名	日本文学講義Ⅱ
大学名	活水女子大学	担当教員	田中 俊廣(非常勤講師)
開講形態	既存科目・後期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	2単位	開講期間	令和2年9月24(木)～令和3年1月29日(金)
授業定員	50人	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	取組状況 20% レポート 80%
開講場所	活水女子大学 東山手キャンパス	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	テキスト三好行雄著『日本の近代文学』塙書房、1981。(塙新書)
連絡先	活水女子大学 教務課 TEL・FAX 095-820-6016		

科目内容

日本の近現代文学史を学ぶことは、言語表現としての文学とともに、その時代社会や思想や価値観を学ぶことでもある。
 また、作家や作中人物の人間性に触れることによって、人間理解を深めることができるようになる。
 明治・大正・昭和・平成という時代の変遷に沿って、文学も様々な様相と思潮を帯びていく。その歴史と作品を知ることによって、日本の思想や文化的状況を学んでいく。「文学」「時代」「思想」